

第156回 理学療法科学学会 学術大会案内

開催要項

日時：令和 8年 5月23日（土） 13時～16時30分

場所：宝塚医療大学保健医療学部（宝塚キャンパス）

方式：Hybrid開催

大会長：酒井 孝文（宝塚医療大学保健医療学部 教授）

テーマ：「動作分析の変遷」

プログラム（予定）

12:30 受付開始

13:00-13:10 開会の辞 会長挨拶 理学療法科学学会 会長 丸山 仁司 先生

13:10-14:40 シンポジウム 「動作解析方法の変遷と様々な分野での動作解析」

上田 泰之 先生

酒井 孝文 先生

小幡 太志 先生

14:50-16:20 一般演題 5～8題予定

16:20-16:30 閉会の辞

宝塚医療大学保健医療学部 学部長 小幡 太志 先生

講演概要

シンポジウム「動作解析方法の変遷と様々な分野での動作解析」

動作分析は、理学療法における中核的技術であり、対象者の身体機能を理解し、適切な治療方針を立案するための基盤となる重要な評価手法である。その方法論は、時代の科学的知見、技術革新、そして臨床ニーズの変化とともに発展してきた。

1950年代には観察を中心とした定性的動作分析が主流であったが、1980年代以降、バイオメカニクスの導入と計測技術の進歩により、定量的かつ客観的な評価が重視されるようになった。さらに近年では、ICTやウェアラブルセンサーの普及に加え、AI技術の発展により、非接触型解析やリアルタイムフィードバックなど、動作解析は新たな局面を迎えている。

しかしながら、技術の高度化が進む一方で、動作分析の本質は「観察（定性）」「計測（定量）」「臨床推論（解釈）」の三位一体にあることに変わりはない。得られたデータをいかに解釈し、臨床意思決定へと結びつけるかという視点こそが、実践における核心である。

本シンポジウムでは、最先端の動作解析技術から、臨床現場や介護分野における実践的応用まで、多様な領域の視点を交えながら、動作解析の現在地を共有する。そして、その歴史的変遷を踏まえつつ、今後の発展と臨床への還元のあるあり方について議論を深める場としたい。

【一般演題募集要項】

- 発表形式は口述発表になります。

【応募要項】

- 発表時間7分、質疑応答3分
- 演題名、演者の所属、氏名を含んだ抄録集原稿を Microsoft Word で作成してください。

【抄録作成・提出】

- A4用紙1枚、上下、左右マージン30mm、40文字、45行（1段組） MS明朝11ポイントで作成して下さい。タイトル、所属、氏名は上5行以内、本文は6行目からとして下さい。抄録本文は全角1,300文字以内とします。抄録原稿に倫理的配慮に関する記述を含めてください。抄録本文は【】（すみつきかっこ）を使用し、下記の小見出しを参考に作成してください。なお、小見出しの内容は自由に修正してください。【はじめに、目的】、【方法および症例報告】、【結果および経過】、【考察】、【倫理的配慮】
- 発表者は利益相反（COI）に関する申告をおこなってください

【演題登録・締切】

- 演題登録および抄録送付は下記の大会事務局のe-mail アドレスにファイルを添付して送付下さい。
- メールの件名は、「第156回理学療法科学学会 演題」としてください
- 応募締切：令和 8年 5月15日（金）

【学会参加】

- 学会参加費：会場での対面参加費；2,000円。ただし、学生や大学院生は無料。オンラインでの参加は無料（参加数上限になり次第受付を終了します。また質疑応答は基本のご遠慮いただきます）
- 参加登録は下記のURLまたはQRコードよりお願いいたします。
- <https://forms.gle/BxGgALp9RqZWGoH46>



大会事務局：宝塚医療大学 保健医療学部
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ヶ1
山下 勝大（ヤマシタ ショウタ）
Email: s-yamashita@tumh.ac.jp